

あいめーる

WINTER

実習生受入れ特集 愛隣館通信

平成 28 年 02 月 01 日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアページ

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



(写真:食堂にて集合写真)

ロアッソ熊本交流会

昨年五月。サッカーJ2リーグのロアッソ熊本より、うまかな・よかなスタジアムでのホームゲーム観戦招待を受け、三班に分かれ計九人の入居者で応援に行きました。

それを受け十二月八日(火)、観戦に訪れた皆様感謝の気持ちを込めてという事で、31番 GK 原裕太郎選手、24番 DF 岡崎亮平選手、13番 MF 坂元大希選手、広報担当の矢野大輔さんの四人が来館されました。

ご挨拶のあと、各選手の自己紹介。ポジション等の説明の後に、ステージを下りて、華麗なリフティングやヘディングを披露され、しばし見惚れていました。

他にも「彼女はいますか?」「休日の日には何をしていますか?」「練習時間はどれくらいですか?」など、利用者からの質問に笑顔で答えて頂きました。

最後に、ロアッソ熊本チームより選手のサインが入ったユニホームを、愛隣館代表でロアッソファンの杉山伸一さんが受け取り、選手を囲み記念撮影を行いました。

現役選手との交流は、大いに盛り上がり貴重な体験になりました。



新年、ご利用者の言葉と表情に思う



館長

三浦 貴子

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

クリスマスの集いと、大晦日、元旦の年末年始で利用者の方々とのやりとりの中、心に残ることをお伝えします。

イブを迎える玄関前のプログラムボード。クリエーター(利用者)の坂田さんと源さんが「このクリスマスは松尾さんなんですよ」と教えてくれました。ここ数年「うんまっ」と思う程工夫を凝らしたボードの制作。そして振り返れば通年で、誰かの何かを発見し、褒め、皆を喜ばせようとして下さる坂田さんと源さんにサンタクロースが重なりました。

イブのディナーでは、地域移行をされ、ご家族との生活を経て二年後、再び入居されたNさんがしみじみと、「ほんとに戻って来て良かったと思うんです」と。ご家族とも仲良く、自分自身は気をつかわない暮らしを得たという実感を伝えられました。地域移行・定着という、制度的な目標は達せられなかったかもしれませんが、全てがNさんの選択であり、豊かな経験が残って、笑顔でおられる現在

が事実だと感じています。

その時間、別の方からは個別の苦情を頂きました。ケアに関する事でした。長い間、その方を存じているので、憤りは表情から深く伝わり申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。すぐにチームで、責任を持って解決する対応をスタッフと取りました。

大晦日は、全居室を訪ねて、利用者の皆さんと年越しのごあいさつ。これまでなかなかできずにいたのですが、共有空間でお会いする時より、皆さんに家主の風情があり、別の表情で迎えて下さいました。知的に障害のある方々からも「お母さんによろしく」との言葉があり、「配慮頂いていると感じ入りました。

そして穏やかな元旦。厨房スタッフが、丹誠を込めたおせち料理とお雑煮で、今年も晴れやかなお正月。新年を皆で元気に迎えられたことに、心から感謝いたしております。

生の芸術オールブリュット展覧会

事務・総務部 納富 久

十一月十七日(火)～二十三日(月)まで、県立美術館分館に於いて「生の芸術オールブリュット展覧会」が開催されました。同展は、県内十一名の作家の作品を展示し、一週間で二〇〇八名の方が会場に足を運んで下さいました。期間中には作家、ご

家族も来場し、自分たちの作品が展示されているのを喜んでおられました。

作家、ご家族、支援者、来場者、それぞれが今回の展覧会で感じるものがあつたと思います。障害のある人々らの芸術活動支援の輪が広がることを目的として、これからも活動を続けていきたいと思えます。

施設親善野球大会に参加して

愛隣倶楽部 中野 大清

今回私は、十一月七日、八日に福岡県で開催された、「施設親善野球大会」に参加させて頂きました。九州各地の施設から職員の方々が参加され、活気溢れるプレーを繰り上げられていました。

私は、応援団として参加させて頂きました。各地の方々や野球を通して交流を図ることができました。また、野球大会後には、参加された各施設の方々との交流会が開かれ、九州各



地の施設の方々と話をする事ができ、各施設の取り組みやプライベートな事まで話が広がり、楽しい一時を過ごすことができました。

今回の野球大会を通して、各施設の方々と交流する事ができ、親睦を深める良い機会となりました。

三岳公民館ミニ門松作り

地域活動支援センター

ぴあぴあ 吉田 裕子

昨年、ぴあぴあにて好評だった「ミニ門松作り」を今年も予定していたところ、三岳地区の方々との交流も兼ねて、ぜひ今年には三岳公民館にて実施して頂けないでしょうか、三岳公民館の吉田寛子さんよりお声掛け頂きました。



十二月二十六日(土)十三時から、愛隣館の隈部賢治さんを講師に迎え、地域の方七名、ぴあぴあご利用の方十三名の参加を頂き、賑やかに、和気あい

いと、それぞれの門松を作られました。

来年もぜひお願いしますと、皆さん、大変喜ばれておりました。

福岡一泊旅行

愛隣倶楽部 阿部 真澄

十二月三日(木)、四日(金)、福岡一泊旅行へ行ってきました。その日は生憎の曇り空でしたが、皆さん元氣一杯に出発しました。向かった先は、博多の食と文化の博物館という明太子工場でした。

こちらでは自分の好みの明太子作りが体験でき、マスク、手袋、帽子を着用、説明を受けながら世界で一つのマイ明太子作りを楽しみました。

午後からはチャンネルシティへ移動、お店をまるごと買うぐらいの勢いで買い物をしてきた事にはビックリでした。二日目は、

マリノワール 海の中道水族館へ。イルカに混じってクジラが頑張ってる姿がとても可愛かったです。



寒い二日間でしたが、皆さん体調を崩す事なく、美味しい、楽しいを満喫できた一泊旅行でした。

クローズアップ愛隣館⑮

事務・総務部

サブチーフ 堀田 直美



愛隣館に事務員として入職し、早七年が経とうとしています。

当初、福祉関係は仕事でもプライベートでも、全く関わった事の無い未知の世界でした。

何もできないのだから、挨拶だけはしっかりしようと思い決めて日々過ごしてきました。

車いすを押したこともなければ、日常の会話の中の単語に???...そんな私の、「これってなんですか?」「これはどうしたらいいですか?」「に繰り返して指導いただいた愛隣館の皆さまには、心から感謝しております。

支援シャツ事業や、アール・ブリュットなど多くの方々との出会いを大切に、これからも頑張りたいと思います。引き続きよろしくお願いたします。

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

実習生受け入れ

特集

愛隣館では、社会福祉人材養成機関としての施設の社会的役割を明確にし、学校や施設等、多方面から積極的に実習生や研修生を受け入れ、人材育成に取り組んでいます。
ここでは、実習生受け入れ時の実習プログラムを紹介し、相談支援実習（職場実習、職種実習、ソーシャルワーク実習）や介護実習等、週間プログラムの中にある一日のスケジュール内容を流れに沿って紹介していきます。

実習指導者

実習施設に配置される実習指導者については、社会福祉士及び介護福祉士として三年以上の実務経験を有していること。
社会福祉士では、社会福祉士実習指導者講習会を修了していること。



※写真は、都合により、当日勤務の職員です。
平成二十八年二月現在

オリエンテーション

実習生については、実習開始一ヶ月前より実習生と実習指導者間で、実習期間中の、秘密保持や個人情報保護等に関する誓約書。オリエンテーションを開催し、施設の概要説明・見学・実習に向けて計画の調整をおこないます。



【実習指導者より、実習中に関するオリエンテーション実施】

各事業所での実習

実習指導者が計画の調整を行い、週間プログラムを作成します。
実習期間中は、週間プログラムに沿って、各部署の担当指導者に同行し、指示のもと、実習を実施します。

実習風景

直接支援：担当指導者に同行し、利用者同意のもと、介護実習を実施します。



食事介助：担当指導者の指示のもと、利用者の食事介助を実施します。



介護教室：実際に、車イスに乗車しての体験実習や、視覚障害の方を誘導する際の介助実習など、介護教室を実施いたします。



日中活動：利用者とのコミュニケーションを取り、デイケア利用者と一緒に陶芸体験や、食堂にて風船バレー等に参加します。



講話

各実習指導者が、業務、健康管理、栄養管理、リハビリ、金銭管理、諸手続き代行、運営費の活用等、施設に関する講話スケジュールを作成し、実施します。



【理学療法士より、リハビリに関する講話】



【サービス管理責任者より、業務に関する講話】

反省会・評価

実習終了時に、毎日反省会を行い実習の進行状況を確認し、調整を図ります。
実習日誌は、当日担当した職員が質問事項等に答えます。評価は複数の実習指導者をおこないます。



【一日の終わりに、担当指導者との反省会を実施】



新しい仲間



入居者

堤 栄治

十月十六日に愛隣館に入居しました堤栄治です。年齢は四十五歳です。

趣味は野球観戦と旅行です。好きなチームはセ・リーグが巨人で、パ・リーグがソフトバンクです。思い出の旅行は三年前にデイケアの旅行で行った下関です。今年からは愛隣館の旅行にも参加したいです。

愛隣館での目標は、訓練を頑張りたいです。外出で買い物にも行きたいです。

これからよろしくお願ひします。



デイケア利用

山本 平太郎

皆さん初めまして、十二月十五日よりデイケアを火曜日と水曜日に利用している、鹿央町の山本平太郎（六十歳）です。

デイケアでは、陶芸にチャレンジしていて、自分の湯呑みを作ってみました。

若い時は、ゴルフが好きで九州チャンピオンにもなりました。もう一度訓練を頑張ってクラブを握りたいです。

デイケアの行事も、たくさんあるみたいで楽しんで参加したいと思っています。皆さん、よろしくお願ひします。

新人職員紹介



ケア課

ひさたけ

久武 康博

皆様、はじめまして、九月中旬よりお世話になっております久武康博と申します。年齢は四十一歳になります。

以前は主に物流業界にて仕事をしてきました。この度、福祉という仕事に携わらせて頂き、早や四ヶ月程経ちました。その間、利用者の方々、職員の皆様から声を掛けて頂いたり適切なアドバイスを含め、貴重なご意見を沢山頂きました。

これらの事柄を決して忘れる事なく、一人の人間として日々精進して行きたいと思ひます。

ご迷惑等お掛けする事が多々あると思ひますが、今後とも皆様方のご指導を賜りますようお願い致します。お世話になります。

初詣

新年を迎え、愛隣館では一日（金）、二日（土）の二日間、下宮神社（げぐつじんじや）に初詣に行きました。一日目は利用者十三名、職員九名。二

日目は利用者四名、職員三名でした。

二日間共に、寒さはあったものの天候にも恵まれ、参拝日和でした。

神社は、愛隣館から徒歩十五分程に位置します。職員と共に連れ立って神社に到着し、各々「家内安全」「無病息災」等、沢山の願いを込めてお参りをしました。

その後は、おみくじを引いたり、お守りを購入したりと、

「今年もいい年でありますように」と祈願し、神社を後にしました。

インフルエンザ予防対策



近くの下宮神社にて記念撮影

看護課 米田 菊

寒い季節を迎え、風邪や感染性胃腸炎、インフルエンザ等が流行し始めます。

インフルエンザは、急激に症状が出て高熱になり、倦怠感や食欲不振など全身症状が現れます。

予防策として、手洗いやうがい等がありますが、愛隣館では、毎年インフルエンザの流行や重症化を防ぐために、入居者、職員に予防接種を実施してい

ます。
一月十二日(火)には、今冬のインフルエンザ流行を前に、看護師、サービスマン管理責任者でインフルエンザ対策準備会議を行いました。

会議では、施設での流感を想定し感染防止と早期発見、迅速な対応を(インフルバスター、加湿器のメンテナンスなど)マニュアルに加えて検討しました。感染が拡大しない様に願っています。



地域福祉部合同忘年会

十二月十六日(水)、愛隣倶楽部にて地域福祉部合同忘年会が開催されました。利用者とそのご家族・職員、総勢で百名を超える参加でした。

三浦貴子館長の挨拶に続き、ぴあぴあ・ぴあワークご利用の竹野葉子さんの乾杯の音頭で会がはじまり、各テーブルでは豪華なお弁当の前に、話しが弾んでいました。

恒例のカラオケ大会では、自慢の喉を披露されたり、たて笛とハーモニカの演奏も飛び出し、賑わい

ました。

また、皆さんお楽しみみの抽選会では、例年の賞品の他に、ディケアの外部講師賞(中村先生、境先生)・館長賞、そして、利用者のお母様から賞品の提供もあり、

たくさんの方々に笑顔の花が咲いていました。

最後に、ぴあぴあ・ぴあワークご利用の明野新太郎さんが万歳三唱、島田地域福祉部長がお礼を述べ忘年会は終わりました。



田中主任と杉焼春奈さん、お母さんと一緒にニコリ

法人愛隣園クリスマス集い

十二月二十四日(木)、愛隣館にて法人愛隣園クリスマス集いが開催され入居者・利用者・ご家族が多数参加。

クリスマス一色に飾り付けをされた館内で、先ず三時半からディナーが始まりました。

三浦貴子館長の挨拶に続き、入居者の洲上年孝さんによる乾杯の音頭。テーブルいっぱい並べられた豪華な料理や、シャンパン、ワイン、クリスマスケーキ等に皆さん終始笑顔で楽しまれていました。

午後六時から入居者と愛隣園の子供達によるキャンドルサービースでセレモニーが始まりました。

三浦牧子名誉理事長による「クリスマスのお話」があり、賛美歌

を歌った後、各施設やグループによる出し物の披露がありました。今年はスペシャルゲストとして、山鹿市出身のイタリア・ミラノ在住四十年のオペラ歌手「大代了子」様をお迎えしました。

「昔からお世話になっていました。歌うことで皆さんへ是非恩返しをしたい！」とボランティアで越し下さり、マイクなしで三曲熱唱して頂きました。素晴らしい歌声を、ありがとうございます。その他各グループの出し物もあり、笑いあり感動ありで会場は盛り上がりました。

丸太トリアスロン大会

ケア課 竹下 真二

十一月二十二日(日)に、鹿北町で行われた、鹿北祭りのイベント「丸太トリアスロン大会」に参加



愛隣荘の三浦はるみ施設長より大代了子様へ花束贈呈

加してきまし
た。

参加者につ
いては、綱引き
と違い体重制
限がありませ
ん。体力に自信
のありそうな
強者(つわも
の)達を館長が
スカウト。愛隣
館から四名、地域の他業種から四名でチーム構成し
出陣！



準優勝のタテと一緒に、チーム：ベアハグ

昨年は近差で惜しくも準優勝でしたので、今年こそはと意気込み参加しました。予選での丸太切りでは、トップ通過しました。

決勝では、三百キロの丸太を五人で二十五メートル引くレース。スタートして最初は良かったのですが、結局、地元の建設業チームに負けてしまい、またしても準優勝で終わってしまいました。来年こそは体を鍛えて頑張りたいと思います。

そして応援して下さいました利用者の方ありがとうございました。



くまもと障がい者芸術展

デイケア 富田 正美

十一月十七日(火)～二十三日(月)にかけて熊本県立美術館分館にて、くまもとハートウィーク

「くまもと障がい者芸術展」が開催されました。愛

隣館、デイケ

ア、愛隣倶楽

部、ぴあぴあ

から、パステ

ルアートや陶

芸、手芸、写

真など数多く

の作品が出版

されました。

今年、「心

に残った作

品」としてデ

イケア利用者の池田良子(よしこ)さんの「森のふ

くろう」、作田芳乃(よしの)さんの「食欲の秋」



池田良子さん作：「森のふくろう」



作田芳乃さん作：「食欲の秋」

ので、うれしかったです」とおっしゃっていました。私は愛隣館に入職して初めて、芸術展の見学に行きました。どの作品も素敵で、力作ぞろいので、とても感動しました。

再春館イルミネーション見物

十二月三日(木)・十八日(金)・二十一日(月)に分かれ、計九人の入居者が再春館イルミネーション見物に行きました。

ここは、約二十分程で見物することができ、日本で初めて車に乗ったままイルミネーションが見物可能になった大人気スポットです。



イルミネーションの前で、西島俊昭さん

今回、参加した鶴崎さおりさん、福原隆博さん、池田祐美さんらは、「イルミネーションのスケールが大きくなっていて、楽しかった」「車の中から見学できるので寒くなかった」「イルミネーションのトンネルがとても綺麗だった。今年で最後かと思うと残念」等、たくさん感想を話しておられました。